

寄贈した設備の概要

【堤防・防潮堤に求められる機能】

防災機能：

南海トラフ巨大地震による津波や地震後の高波に対し、越波量を許容値以下に抑える

環境機能：

堤防背面の塩性湿地環境を守る（堤防下部からの海水の流入を妨げない構造）

・ 錦海湾堤防補強工事（延長 L=1,640 m）



上部工：鉄筋コンクリート造
天端幅 W=1.4m
高さ H=1.0~1.35m

既設舗装撤去復旧：
約 13,000m²

短尺杭：鋼管矢板 φ800mm
L=3.0~4.5m
N=1,219本

地震による液状化で
堤体が沈下しても、
「鋼管矢板+上部工」
は沈下せず、
津波・高波による
浸水被害を防ぎます

地中からの海水の
流入を妨げない
構造形式とし、
塩性湿地を守ります

支持杭：鋼管矢板 φ800mm
L=11.0~38.5m
N=308本

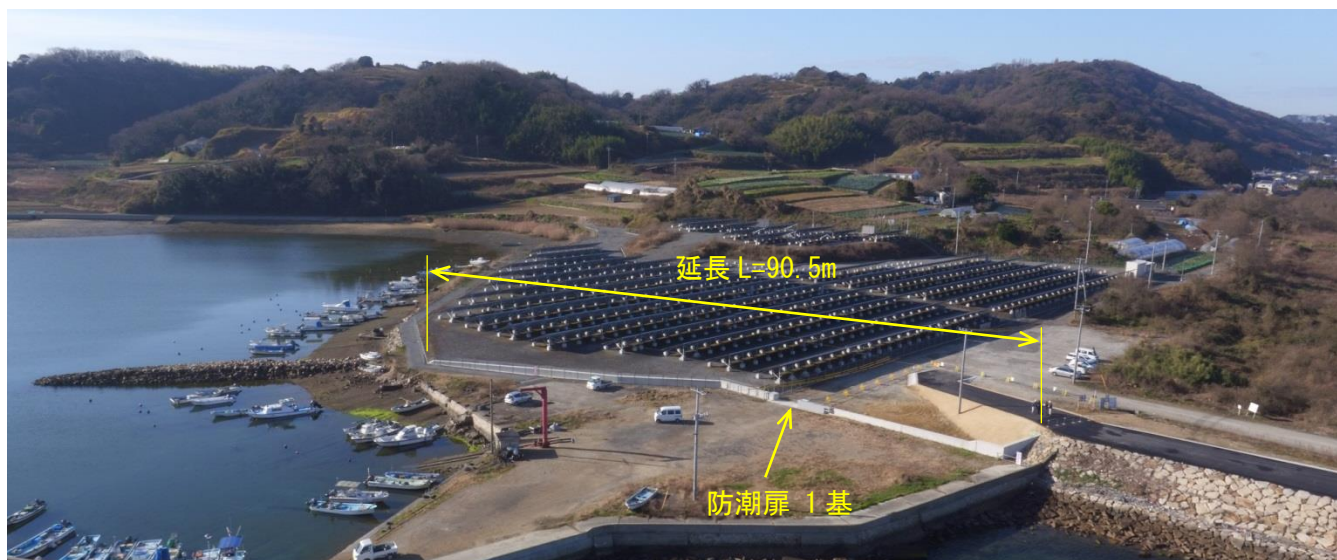
支持層

・ 玉津港 防潮堤・防潮扉新設工事



- ・ 重力式擁壁 : 延長 L=238.9m
- ・ 杭基礎式擁壁 : 延長 L=290.3m 計 529.2m
- ・ 防潮扉 : 1基 (幅 W=4.0m 高さ H=0.7m)

・ 師楽港 防潮堤・防潮扉新設工事



- ・ 重力式擁壁 : 延長 L=90.5m
- ・ 防潮扉 : 1基 (幅 W=4.0m 高さ H=0.85m)

- ・ 工事名 : 防潮堤・防潮扉新設工事及び堤防補強土木工事
- ・ 工期 : 平成 26 年 10 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日 (30 ヶ月)
- ・ 発注者 : 瀬戸内 Kirei 未来創り合同会社
- ・ 施工者 : 清水建設株式会社 広島支店